

西郷村「ゼロカーボンシティ宣言」

近年、全国各地で集中豪雨の発生や台風等による風水害が頻発し、災害は激甚化の一途を辿っています。また、気温上昇による自然生態系への影響など、気候変動問題はわたしたちの生活に大きな脅威を及ぼしています。

原因の一つとして挙げられるのが地球温暖化であり、その対策として、2015年に合意されたパリ協定では、「産業革命前を基準として、将来にわたって世界的な平均気温上昇を1.5℃に抑える努力を追求する」という目標が掲げられました。これを達成するためには、2050年までに二酸化炭素の実質排出量をゼロにすることが必要です。

わたしたちは、この世界の危機的状況を認識し、気候変動対策を喫緊の課題として位置づけ、積極的に取り組まなければなりません。

こうしたことから本村は、美しい里山、清らかな水、そして澄みわたる空気など、かけがえのない豊かな自然を守り、安心して住み続けられる故郷を良好な状態で次の世代へと繋いでいくため、2050年までに二酸化炭素の排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」の実現に向けて、村民、事業者、行政が一体となって挑戦することを宣言します。

令和8年9月3日

西郷村長 高橋廣志